

ヒトエグサの葉体付着状況調査

令和 8 年 10 月 7 日
福島県水産資源研究所

1. 松川浦の水温

松川浦分庁舎前の 8/20～9/30 の水温は 21.4～28.1℃でした（図 1）。
5 か年（2022～2026 年）の平均水温と比較すると平均 1.4℃低く推移しており、8 月 25・26 日を除くすべての調査日で 5 か年平均より低い結果となりました。

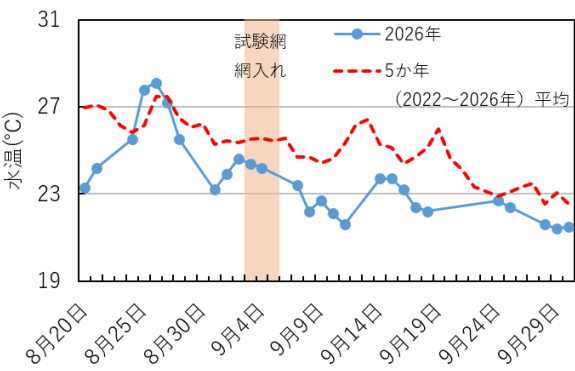


図 1 8/20～9/30 の松川浦の水温

2. 葉体の付着状況

9 月 3～5 日に中州昼小屋の人工種場に試験網を網入れしました。この試験網から 9 月 29 日に網糸の一部を採取し、ヒトエグサの葉体の付着状況を実体顕微鏡で観察しました。網糸に付着する葉体を計数し、網糸 3cm あたりの付着数を算出しました。また葉体の一部については、葉体長を計測しました。

今年の付着数は平均 39.5 個体/3 cm と、近年で最多の付着数でした（表 1）。葉体長は 0.26～1.22mm であり、平均 0.56mm でした。

表 1 平均葉体付着数

年次	調査時期 (調査日)		平均付着数 (個体/ 3 cm)
2020	10月初旬	(10/3)	24.6個体
2021	11月初旬	(11/3)	21.8個体
2022	9月下旬	(9/26)	14.3個体
2023	9月下旬	(9/27)	14.8個体
2024	9月下旬	(9/27)	30.6個体
2025	10月中旬	(10/14)	27.3個体
2026	9月下旬	(9/29)	39.5個体

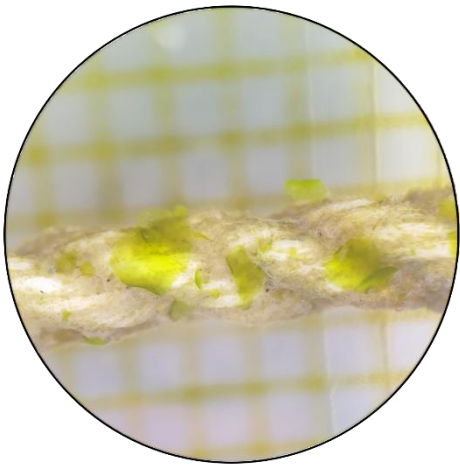


写真 網糸の様子